

毎日コムネット、大学生の課外活動経験と就職後意識との関連調査を発表

課外活動経験者は就職後もコミュニケーション力を発揮 顧客・職場・社会に対し働きかける意欲が高い

首都圏において学生支援サービスを展開する株式会社毎日コムネット（東京都千代田区：代表取締役 伊藤守／JASDAQ 8908）は、大学時代の課外活動経験（クラブ・サークル経験）が、就職後の仕事に対する意識等に与える影響を調査し、その分析結果を発表いたしました。

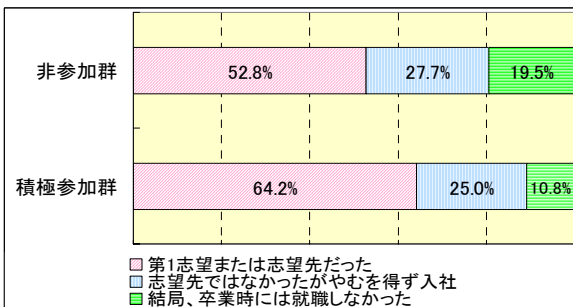
この調査は、経済産業省の「社会人基礎力に関する研究会」で座長も務められている諏訪康雄法政大学大学院教授の協力を得て、昨年末、大学卒業後5年内の若手社会人 1,380 名を対象に行われたものです。

■調査結果抜粋

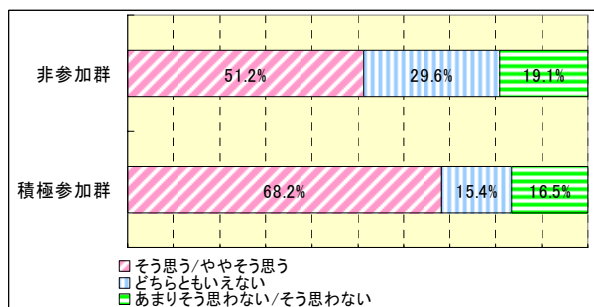
※非参加群：大学時代クラブ・サークルに所属していなかった層

積極参加群：大学時代クラブ・サークルで積極的に活動していた層

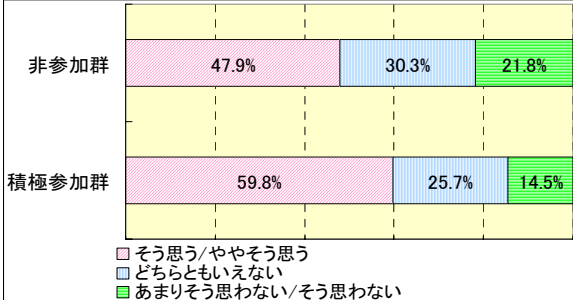
○就職した会社の志望度は



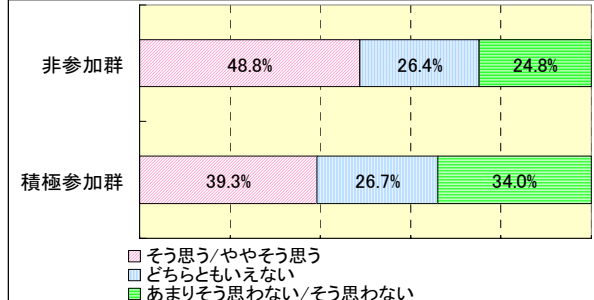
○上司とのコミュニケーションは取れていると思うか



○職場で「自分は期待されている」と感じるか



○職場での人間関係にストレスを感じるか



その他、同僚との人間関係、自分の評価、転職意識、仕事の目的意識、自分の能力に関する意識等、さまざまな観点で調査分析を行った結果、課外活動に積極的に取り組んだ人ほど、仕事上の人間関係にポジティブで自己肯定的であり、顧客や社会貢献等の他者に働きかけ評価を得ようとする意欲が高い、つまり社会人基礎力が高いという結果が得られました。

なお、当社ではこの調査結果を就職支援事業に活用するほか、新卒採用・育成に悩む企業をはじめ、就職支援に力を入れる大学にとって参考にしていただくためホームページ (<http://www.maicom.co.jp>) で公開することといたします。